

(別紙 1)

学校給食衛生管理基準

- 1 健康診断は年 1 回以上実施し、実施後は診断結果（写し）を本校へ提出すること。
- 2 赤痢・サルモネラ・O-157 の検便検査は毎月 2 回以上、ノロウィルス検便検査を 10 月～3 月の期間で月 1 回以上実施し、検査結果の写しを毎月本校へ提出すること。
- 3 従業員の下痢、発熱、腹痛、嘔吐、化膿性疾患及び手指等の外傷等の有無等の健康状態を毎日、個人ごとに把握するとともに、本人若しくは同居人に、感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律百十四号。以下「感染症予防」という。）に規定する感染症又はその疑いがあるかどうか毎日点検し、これらを記録し、本校に提出すること。また、下痢・発熱・腹痛・嘔吐をしている場合、本人若しくは同居人が法定伝染病又はその疑いがある場合、特定感染症の保菌者である場合、化膿性疾患が手指にある場合には配送作業に従事することを禁止し、医師の精密検査を受けさせその指示を励行させること。
- 4 化膿性疾患が腕や顔にある場合には、完全に防護させる。
- 5 下痢の場合は、速やかに検便を実施する。
- 6 配送従事者の身体、衣服は常に清潔に保つこと。
- 7 配送に当たっては、せき・くしゃみ・鼻水等が食器・食物につかないようにすること。
- 8 清潔な白衣（作業着）・マスク・髪覆い・履物を着用すること。
- 9 配送用の白衣（作業着）や履物を着用したまま便所に入らないようにすること。
- 10 業務開始前及び用便後には必ず手指の洗浄・消毒を行うこと。